

2 人口の将来展望～戸田市人口ビジョンより～

戸田市人口ビジョンにおいては、戸田市における人口動向や将来人口推計を分析し、将来の方向として、以下の基本的視点と四つの方向性を定めています。

また、人口の将来展望として、長期的視点で人口規模の維持を図ること、高齢化・少子化による人口構造の急激な変化を抑制することを掲げています。

将来の方向

〈基本的視点〉

若い世代が戸田市での「暮らし」や「人生」に満足できるようにすることで、この地に根付く人を増やす

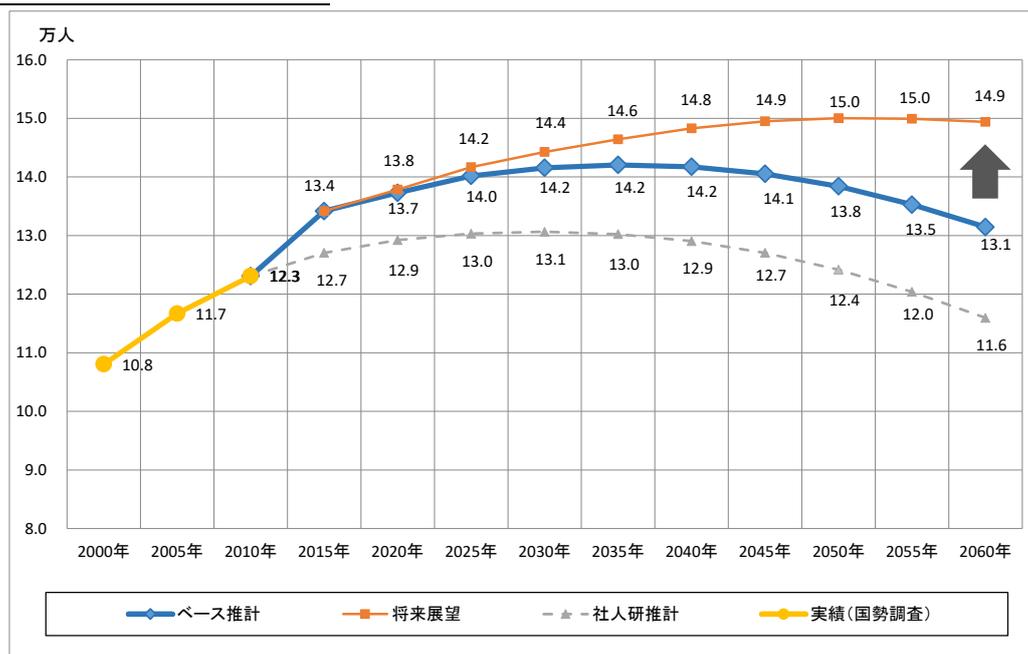
〈4つの方向性〉

- ①若い世代（特に子育て世代・住宅購入世代）の転出を抑制する
- ②「この地で結婚・出産・子育てしたい」と思われるまちをつくる
- ③市民に仕事と働きやすさを提供し、個々人にとっての理想の働き方を実現する
- ④将来の人口構造変化に柔軟に対応できる、まちの基礎・基盤をつくる

人口の将来展望

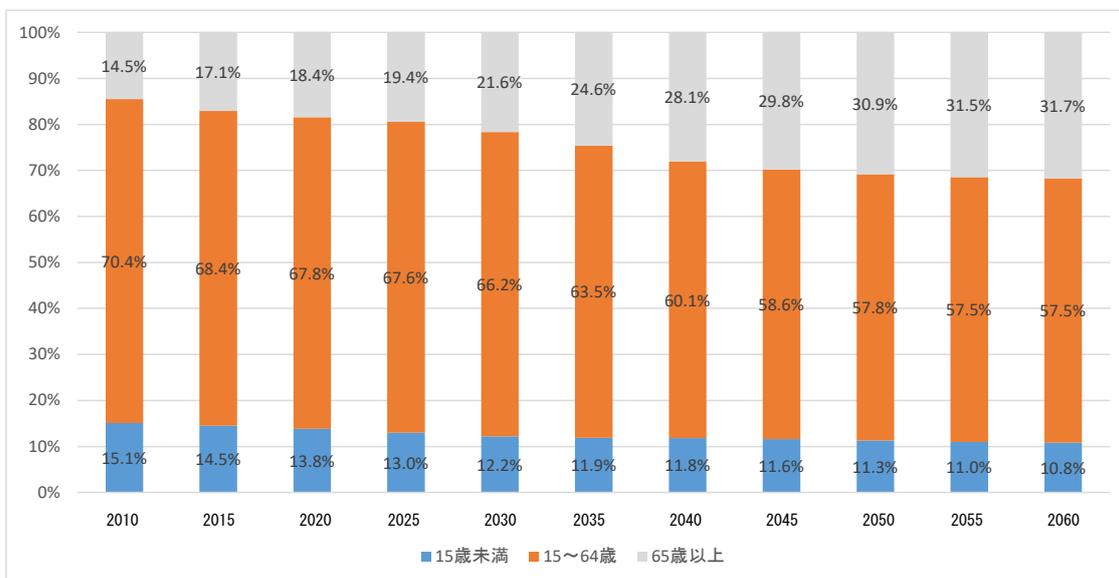
- ◎戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策展開の効果により、総人口は、2040（平成52）年に14.8万人、2060（平成72）年に14.9万人を維持。
- ◎高齢化と少子化の進行を緩和し、人口構成の急激なバランス変化を抑制。

総人口の推計と将来展望

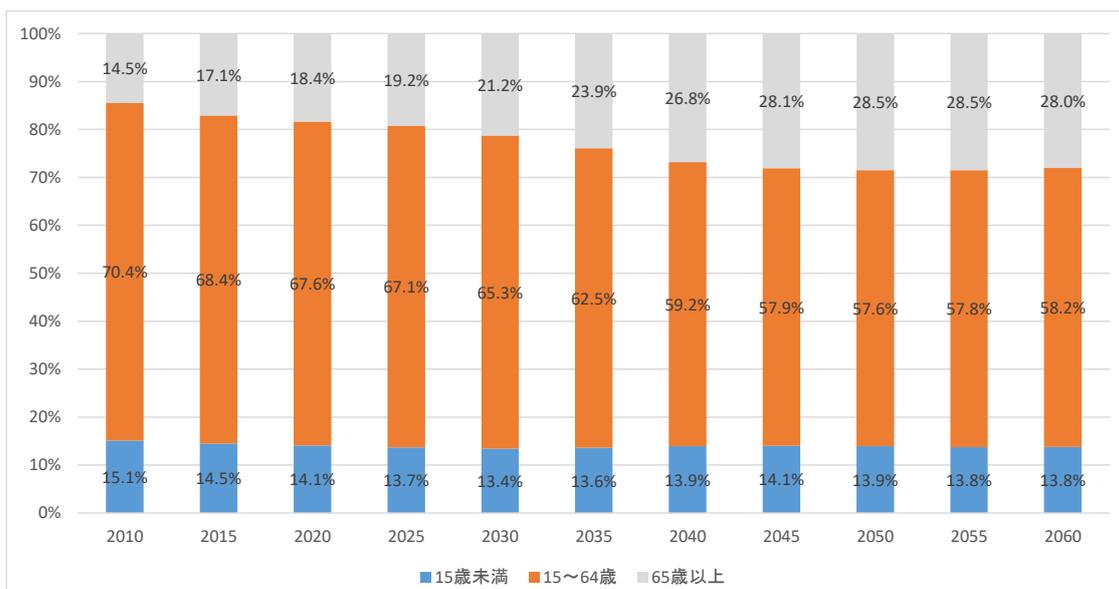


年齢3区分別人口割合（ベース推計、将来展望）

（ベース推計）



（将来展望）



【将来展望における仮定値】

①出生に関する仮定

- ・合計特殊出生率が、ベース推計よりも上昇することを想定します。
→2040年に1.80まで上昇し、以降は一定。
1.80は、国の長期ビジョンにおいて、若い世代の結婚・子育ての希望が実現した場合の水準。

②移動に関する仮定

- ・10代、20代について
ベース推計では、社人研推計に基づき、転入超過が縮小していくと仮定していますが、転入超過の縮小が仮定ほど進まないことを想定し、この転入超過の縮小幅を圧縮します。
→2030年まで縮小幅を一律10%減、以降一定。
- ・30代、40代及び0～9歳人口について
ファミリー世帯の転出超過が抑制されることを想定し、ベース推計から純移動数が増加する方向に純移動率を調整します。
→2030年までに転出超過を10%抑制、以降一定。